

講演会&パネルディスカッション②

発達障害のある子のコミュニケーション力が伸びる！？

宿泊行事の参加の意味は？

開催趣旨

アサヒキャンプ名古屋では、LD、ADHD、自閉スペクトラム症、知的障がいなどの小中学生が、学生ボランティアと年に6回程度、宿泊行事を楽しんでいます。その中で大きく成長する子がいます。宿泊に向けて段階を追った準備、心構え、考え方の優先順位、メリット、デメリットをアサヒキャンプに35年関わり、子どもたち、学生を見てきた中久木が話します。保護者に登場していただき、そのドラマ、驚き、何を大切にすると大きな成長につながるのかポイントをお伝えしたいと思います。関心のある方はどなたでもどうぞ！



日時・場所 5月20日(日) 13:30~15:30 (受付開始 13:00)

ウィルあいち3階 会議室5 (定員 50人) 名古屋市東区上笠杉町1 電話 052-962-2511

交通 地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩 10分 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩8分

講演 中久木俊之「なぜ宿泊は大きな影響があるのか。学校との違い、経験を重ねると何が変わるのか」
アサヒキャンプ名古屋事務局長、活動歴 35年。特別支援教育支援員養成講座、フリースクールも行う。

パネルディスカッション・質疑応答 (司会 中久木)

大脇 留美「コミュニケーション能力が著しく伸びた我が子」

江南市保護者会トゥッティ代表 アサヒキャンプ歴5年 小4~中2

栗田 利江「宿泊の活動で学ぶこと 本人の意欲が変化を生み出す」

保護者 アサヒキャンプ歴5年 小3~中1

アサヒキャンプに参加していた高校生

参加費 おひとり 1,000円 参加費は当日受付にていただきます。関心のある方はどなたでもどうぞ！

[講演会申込専用メール](#)

主催 アサヒキャンプ名古屋

QRコード

共催 子ども支援室カシオペア ディスレクシア協会名古屋

申込方法 講演会の月日、お名前、〒住所、電話番号、お立場もしくは所属会名を明記の上、メールにてお申し下さい。定員 50人。先着順受付。
講演会申込専用メール asahicamp.nagoya.kouenkai@gmail.com



アサヒキャンプ名古屋について、詳しくはホームページやFacebookをご覧ください。

アサヒキャンプ名古屋 〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階

電話 052-908-0623 FAX052-908-0635 メール asahicamp.nagoya@gmail.com

<http://asahicamp.nagoya/> <https://www.facebook.com/asahicampnagoya/>

facebook

QRコード



5月20日の講演の中で中久木が話したいと考えていること
「宿泊を通して、なぜコミュニケーション力が伸びていくのか」

アサヒキャンプ名古屋
中久木俊之

発達障害のある子たちのコミュニケーション力が伸びる！？ということ

他人のことを考える、理解したいと思う
自分の興味関心、変化、成長に気づく
自分でできることが増える

私が見てきたドラマ、驚き

発達障害の診断を受けていた子で長期間アサヒキャンプに参加して
診断がつかないレベルに変化、成長した子を知っている
意欲を伸ばし、できることが増えていく子どもたち

コミュニケーション力を伸ばす空間・時間は？

話しかけたい相手が身近にいる、話を聞いてほしい人がいる
何度も話しかける 遊びを通して働きかける 一日中遊ぶ
相手のことを考える 相手の言葉を理解したい 相手の気持ちを理解したい
楽しみたい 一緒に過ごしたい 楽しみたい 一緒にのこをしたい
3時間、6時間、1泊、2泊、3泊の違い 宿泊は自信を生む

キャンプの中で「できた！」を感じる場面はたくさんある

大きなことから小さなことまで盛りだくさん
大きなこと 野外炊事 川遊び スタンプ発表 宿泊 キャンプファイアー
小さなこと ………

自分で理解できることを増やしていくための支援は必要

視覚支援の活用
理解できる言葉、概念を増やすということ
自分の理解できることが増えていく、伸びていくという思いをもつ

子どもの成長とともに保護者の役割は変わっていく

小2まで、小3～小5、小6～中3、高校以降の保護者の役割は変わっていく

コミュニケーション力を伸ばす環境とは？

子どものコミュニケーションをしたいという欲求を育てたい

中久木俊之 プロフィール

大学4年間のアサヒキャンプ活動をきっかけに1988年～2006年、朝日新聞厚生文化事業団で、さまざまな個性豊かな子や不登校の子が参加する「アサヒキャンプ」を担当。2007年NPO法人アサヒキャンプ名古屋を立ち上げ、事務局長。「楽習会」「マイスペース」など少人数で行う支援メニューも増やす。35年間アサヒキャンプに関わる理由は、自己肯定感を高め、人生を変えていく姿をたくさん間近で見てきたから。2010年、NPO法人子ども支援室カシオペアを立ち上げ、「特別支援教育支援員養成講座」を毎年春と秋に7日間講座を開催。2015年から平日に行っているフリースクールでは学習面で「できた！」と思いながら、自己肯定感を高めていくことがテーマ。55歳。